



平成30年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月6日

上場会社名 マニー株式会社

上場取引所 東

コード番号 7730 URL <http://www.mani.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 高井 壽秀

問合せ先責任者 (役職名) 執行役常務 (氏名) 高橋 一夫

TEL 028-667-1811

四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日

配当支払開始予定日

平成30年5月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	9,663	17.8	2,393	10.1	2,421	1.3	1,678	1.0
29年8月期第2四半期	8,205	4.9	2,174	20.6	2,390	38.6	1,695	37.4

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 2,577百万円 (12.0%) 29年8月期第2四半期 2,930百万円 (227.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	51.16	
29年8月期第2四半期	51.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	36,877	32,498	88.1
29年8月期	34,542	30,478	88.2

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 32,498百万円 29年8月期 30,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期		17.00		17.00	34.00
30年8月期		18.00			
30年8月期(予想)				20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,805	9.5	4,950	16.2	4,865	5.2	3,501	5.6	106.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年8月期2Q	35,637,000 株	29年8月期	35,637,000 株
期末自己株式数	30年8月期2Q	2,827,916 株	29年8月期	2,827,880 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年8月期2Q	32,809,107 株	29年8月期2Q	32,809,120 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内においては、高齢化の進展や先進医療の導入により医療市場の拡大が見込まれる一方で、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に、医療費全体の伸びを抑える医療政策が継続しております。また、海外においては、先進国では医療費抑制政策や承認基準の厳格化等厳しい状況が続いているものの、新興国では人口の増加及び経済発展に伴う医療インフラの整備が進んでいるため、全体としては引き続き市場の拡大を見込んでおります。

このような環境下、当社グループにおきましては、引き続き需要の拡大が見込まれる新興国市場において、現地販売拠点を中心にマーケティングの強化を図り、ユーザーニーズの把握及び販売網の整備に努めた結果、全セグメントにおいて売上を大きく増加させることができました。また、ドイツの子会社 Schütz Dental GmbH及びGDF Gesellschaft für dentale Forschung und Innovationen GmbHの2社についても、ユーロ高の影響を受けて、売上高が増加しました。

海外工場におきましては、ベトナムの生産拠点 MANI HANOI CO., LTD. は、生産工程移管の推進とともに、品質向上とコスト低減を実現するため、生産効率の改善及び顧客への直接出荷体制の確立に努めてまいりました。さらに、アイレス針の受注増加に対応すべく、新工場での増産対応を進めてまいりました。また、ミャンマーの生産拠点 MANI YANGON LTD. 及びラオスの生産拠点 MANI VIENTIANE SOLE.CO., LTD. は、品質の安定化を推進してまいりました。国内工場におきましては、海外生産拠点との連携強化に努めてまいりました。

開発面においては、引き続き「世界一の品質」を実現・維持するための生産技術開発・既存製品改良研究を海外拠点と連携して行うとともに、先進国での売上拡大を目指して、新製品開発に力を入れてまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 9,663百万円（前年同期比 17.8%増）、営業利益は 2,393百万円（同 10.1%増）、経常利益は為替差益の減少により 2,421百万円（同 1.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の支払額の増加により 1,678百万円（同 1.0%減）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(サージカル関連製品)

北米大口顧客の受注減の影響があったものの、品質評価の高い眼科ナイフの売上が国内外で好調に推移したこと及びステイプラーの売上が好調に推移したことから、売上高は 2,329百万円（前年同期比 14.8%増）となりました。また、売上高が増加した一方、販売費及び一般管理費が増加したことから、セグメント利益(営業利益)は 659百万円（同 4.3%増）となりました。

(アイレス針関連製品)

アイレス針増産体制の推進等により、海外大口顧客の売上が好調に推移したことから、売上高は 2,694百万円（前年同期比 26.8%増）となりました。また、売上高が増加した一方、新工場への生産工程移管ならびに新工場稼働に伴い経費が増加したことから、セグメント利益(営業利益)は 1,017百万円（同 16.2%増）となりました。

(デンタル関連製品)

当社中国市場における流通改革の進展により、リーマ・ファイル、ダイヤバーの売上が好調に推移したことから、売上高は 4,638百万円（前年同期比 14.6%増）となりました。また、売上高が増加した一方、販売費及び一般管理費が増加したことから、セグメント利益(営業利益)は 716百万円（同 7.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2,335百万円増加し、36,877百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加ならびに、投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ315百万円増加し、4,378百万円となりました。これは主に、未払法人税等が減少した一方、繰延税金負債が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,019百万円増加し、32,498百万円となりました。これは主に、利益剰余金、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,098百万円増加し、8,554百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、2,192百万円（前年同期比15.0%減）となりました。これは主に、その他の流動負債の増減額が増加した一方、売上債権の増減額が増加したこと及び法人税等の支払額が増加したこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、489百万円（前年同期比69.9%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、556百万円（前年同期比13.3%増）となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、「(1) 経営成績に関する説明」のとおりであります。通期の連結業績予想につきましては、平成29年10月10日の「平成29年8月期 決算短信」で公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,467,608	8,582,875
受取手形及び売掛金	2,357,384	2,505,098
有価証券	1,028	—
商品及び製品	1,763,691	1,770,624
仕掛品	2,592,344	2,591,000
原材料及び貯蔵品	1,412,005	1,626,611
繰延税金資産	334,373	298,833
その他	390,113	327,647
貸倒引当金	△27,816	△31,969
流動資産合計	16,290,732	17,670,722
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,439,450	4,357,757
機械装置及び運搬具(純額)	4,754,296	4,850,625
土地	1,146,656	1,146,656
その他(純額)	814,908	826,264
有形固定資産合計	11,155,311	11,181,304
無形固定資産		
のれん	1,106,219	1,043,925
ソフトウェア	35,261	37,396
その他	406,271	452,608
無形固定資産合計	1,547,753	1,533,929
投資その他の資産		
投資有価証券	5,219,793	6,190,797
繰延税金資産	16,922	25,954
保険積立金	300,911	266,787
その他	10,701	7,827
投資その他の資産合計	5,548,328	6,491,366
固定資産合計	18,251,392	19,206,600
資産合計	34,542,124	36,877,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	239,697	252,633
未払金	545,508	582,881
未払法人税等	956,009	745,943
賞与引当金	508,488	518,303
その他	443,583	571,993
流動負債合計	2,693,287	2,671,756
固定負債		
繰延税金負債	741,752	1,053,781
役員退職慰労引当金	107,250	128,500
退職給付に係る負債	384,344	383,029
資産除去債務	115,410	119,404
その他	21,600	22,400
固定負債合計	1,370,357	1,707,116
負債合計	4,063,644	4,378,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	988,731	988,731
資本剰余金	1,036,311	1,036,311
利益剰余金	29,031,213	30,152,129
自己株式	△3,124,135	△3,124,259
株主資本合計	27,932,121	29,052,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,990,522	2,673,475
為替換算調整勘定	623,675	833,260
退職給付に係る調整累計額	△67,839	△61,198
その他の包括利益累計額合計	2,546,358	3,445,537
純資産合計	30,478,480	32,498,450
負債純資産合計	34,542,124	36,877,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	8,205,386	9,663,452
売上原価	3,368,525	4,030,934
売上総利益	4,836,860	5,632,518
販売費及び一般管理費	2,661,867	3,238,855
営業利益	2,174,992	2,393,662
営業外収益		
受取利息	8,059	11,020
受取配当金	27,651	27,641
投資事業組合運用益	7,206	9,399
為替差益	153,261	—
その他	20,094	28,114
営業外収益合計	216,272	76,175
営業外費用		
支払利息	73	73
為替差損	—	46,134
その他	817	2,102
営業外費用合計	891	48,311
経常利益	2,390,373	2,421,527
特別利益		
保険解約返戻金	—	14,250
特別利益合計	—	14,250
特別損失		
固定資産除却損	6,364	1,261
特別損失合計	6,364	1,261
税金等調整前四半期純利益	2,384,008	2,434,516
法人税、住民税及び事業税	652,487	718,524
法人税等調整額	36,167	37,321
法人税等合計	688,654	755,845
四半期純利益	1,695,353	1,678,670
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,695,353	1,678,670

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	1,695,353	1,678,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	115,305	682,952
為替換算調整勘定	1,111,701	209,584
退職給付に係る調整額	8,314	6,640
その他の包括利益合計	1,235,321	899,178
四半期包括利益	2,930,675	2,577,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,930,675	2,577,849

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,384,008	2,434,516
減価償却費	499,752	624,348
のれん償却額	105,614	119,851
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,701	2,716
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,180	8,082
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,110	21,250
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	357	7,948
受取利息及び受取配当金	△35,710	△38,661
支払利息	73	73
固定資産除却損	6,364	1,261
投資事業組合運用損益(△は益)	△7,206	△9,399
保険解約損益(△は益)	—	△14,250
売上債権の増減額(△は増加)	395,199	△125,023
たな卸資産の増減額(△は増加)	△134,931	△117,267
その他の流動資産の増減額(△は増加)	55,169	63,841
仕入債務の増減額(△は減少)	△72,475	△6,273
未払金の増減額(△は減少)	24,976	△26,980
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△109,558	113,505
その他	△155,544	3,482
小計	2,958,318	3,063,020
利息及び配当金の受取額	28,259	45,662
法人税等の支払額	△408,193	△915,835
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,578,384	2,192,847
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△16,747
有形固定資産の取得による支出	△1,626,326	△486,124
無形固定資産の取得による支出	△10,776	△58,120
投資事業組合分配金による収入	14,387	22,970
保険積立金の積立による支出	△6,741	△4,725
保険積立金の解約による収入	424	53,099
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,629,033	△489,646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△124
配当金の支払額	△491,730	△556,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	△491,730	△556,915
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,101	△48,025
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	480,722	1,098,259
現金及び現金同等物の期首残高	5,795,549	7,456,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,276,271	8,554,667

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自 平成28年9月1日 至 平成29年2月28日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,030,076	2,125,973	4,049,335	8,205,386	-	8,205,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	95,207	-	95,207	△95,207	-
計	2,030,076	2,221,180	4,049,335	8,300,593	△95,207	8,205,386
セグメント利益	632,126	875,394	667,471	2,174,992	-	2,174,992

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自 平成29年9月1日 至 平成30年2月28日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	サージカル 関連製品	アイレス針 関連製品	デンタル 関連製品			
売上高						
外部顧客への売上高	2,329,952	2,694,960	4,638,539	9,663,452	-	9,663,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	85,026	-	85,026	△85,026	-
計	2,329,952	2,779,986	4,638,539	9,748,478	△85,026	9,663,452
セグメント利益	659,439	1,017,511	716,711	2,393,662	-	2,393,662

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。